芝浦争議日報 第二十号

交渉委員報告

交渉委員吉田、栗田、堰村、林、早崎、矢崎、加藤キクエの七名の人達は午後一時官犬の暴圧をケトバシて会社の第三号室に立籠った。

之を聞くや社長は姿をくらましてしまった。交渉委員は直接社長と面談を要求して居るのだ 社長帰らず交渉委員は社長と面談するため徹宵してまでこの交渉戦を続行するぞ!争議団員諸君の熱烈な援助と力とを要求するぞ!

二十三日午後五時○五分　交渉委員会一同

団員諸兄

昨日鶴見に派遣された宣伝隊十名

官犬の暴圧にも屈せずビラ撒キ中官犬と正面衝突して勇敢にその使命を果して来た。併して鶴見の同志も俺達と手を握り合って鉄の如き結束すると共に今や起ち上らんとしつつあるのである。我々は鶴見の兄弟が奮然と起ち上ることに依って我々の唯一の敵三井財閥を打ち倒すことが出来るのである!

オレ達の陣営は固いぞ! ブル新聞の逆宣伝に乗るな!

吉会にわたるオレ達の職場反手手にアワテ出した会社は見ろ!七十名の解雇者と出勤勧告状を以って向かう俺達に挑戦して来たとして奴等は卑怯にもブル新聞に逆宣伝をトバして争議団をコワソうとタクランでみる。だが俺達の陣営は固いぞ!「陣営の一角が動揺した」とか「五名の裏切者が出た」とかミンナ会社の為めにするデマだ!

▲会社オゴッてカシ策にダマサレるな!

裏切者一人残らず タヽキのめせ!

三十五名の敵なデマにビックリした会社は一度は解雇者を出す事を忘れボックリ出したのだてかくやるぞ!奴等の手に乗って裏切りする奴は一人残らずタヽキのめせ!俺達のスパイは決死的だ三井財閥の横暴はアクまで屈服せねばならぬ資本家の前に頭を下げる奴はやっぱり俺達の敵だぞ!裏切者は見つけ次第タヽキのめせ!

馘首された兄弟を生かせ!

俺達の戦ひはこれからだ!横暴極まる資本家は馘首の魔手を

一応所は従若[illegible]若葉校葉らで[illegible]方向方に[illegible]へ[illegible]する中に[illegible]街頭で[illegible]代表[illegible]さめきの記[illegible]一般市民の注視[illegible]は[illegible]運動に[illegible]その反面に[illegible]せよといふこ[illegible]

婦人に

生集まる。

家に居る子を[illegible]婦[illegible]一般市民の婦[illegible]一般市民が一円二円[illegible]三井[illegible]大衆の生[illegible]

浅鉄が更に[illegible]か否か[illegible]は最後の一人まで[illegible]を獲得せねばならぬ[illegible]争議委員会は[illegible]多く押しかけた[illegible]芝浦の資本家が俺達をいかに[illegible]その[illegible]に暴圧を[illegible]するかは[illegible]自暴総領[illegible]大衆党等から[illegible]中央の暴圧を[illegible]強な俺達の[illegible]のために全精力を集注して[illegible]実[illegible]への[illegible]は実に[illegible]する暴圧振りであった。

諸兄!この暴圧振りは見よ 資本家がいかに[illegible]民衆はすでに資本家[illegible]そ俺達の背後には労働者農民[illegible]市民が武装して俺達の争議を[illegible]そ俺達は[illegible]プロレタリヤーのために争議を続けて争議せねばならない。

芝浦製作所全従業員
争議本部
一九三一・二・二三